



サン・ファン館

宮城県慶長使節船ミュージアム



金華山沖の大謀網(1960年代)撮影:鹿井清介



絵葉書・鯨館の鯨骨のゲート(昭和初期)



鮎川・熊野神社の御輿渡御

牡鹿半島・海と浜の民俗学

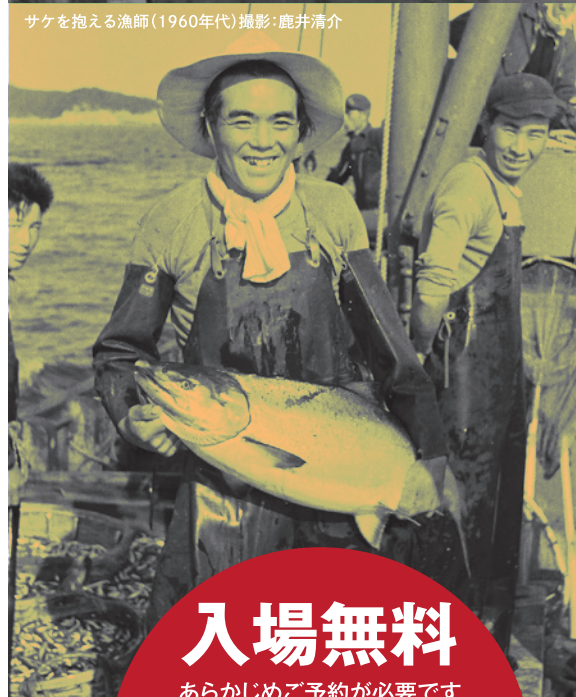
「海と人がつむぐ、物語をひもとく」
サン・ファン館 令和3年秋季シンポジウム



鮎川港に保存された捕鯨船「第16利丸」



金華山沖の大謀網(1960年代)撮影:鹿井清介



サケを抱える漁師(1960年代)撮影:鹿井清介

令和3年9月19日(日) 13:30~15:30

会場 宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館) セミナールーム

講演 川島 秀一 / 加藤 幸治 / 濱田 直嗣

◎お問い合わせ

〒986-2135 宮城県石巻市渡波字大森30番地2

TEL 0225-24-2210 FAX 0225-97-3399 Eメール sympo@santjuan.or.jp

◎主催 / 公益財団法人慶長遣欧使節船協会

◎後援 / 宮城県、石巻市、河北新報社、三陸河北新報社、石巻日日新聞社、石巻コミュニティ放送株式会社

◎協力 / 武蔵野美術大学

入場無料

あらかじめご予約が必要です
お申し込みはチラシ裏面・
サン・ファン館ホームページを
ご覧ください

定員 50名

新型コロナウイルス感染症の
状況により内容や定員を
変更する場合があります

牡鹿半島・海と浜の民俗学

「海と人がつむぐ、物語をひもとく」
サン・ファン館 令和3年秋季シンポジウム

◎日時／令和3年9月19日(日) 13:30~15:30

◎会場／宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館) セミナールーム

◎定員／50名

慶長使節が出帆を果たした江戸時代初期から、旧仙台藩は自然に恵まれ、独自の文化を育ててきたことが記録に残っています。中でも牡鹿半島は慶長使節の出帆の地であり、人々は古来より豊かな海に根ざした暮らしを営んでいます。

今回のシンポジウムでは、民俗学及び歴史の視点から牡鹿半島の魅力を再び捉えなおすとともに、これらの要素を今後生まれ変わるサン・ファン館へどう活かせるかについて話し合います。

プログラム

13:30 主催者あいさつ
宮城県慶長使節船ミュージアム 館長 濱田 直嗣

講演「慶長使節と仙台領沿岸部の生業
—絵図によるアプローチ—」

宮城県慶長使節船ミュージアム 館長 濱田 直嗣

講演「海から見た半島の民俗」

日本民俗学会 会長 川島 秀一氏



カツオ一本釣り船の「金華山踊り」

講演「牡鹿半島の捕鯨と漁業
—民具と古写真から—」

武蔵野美術大学 教授 加藤 幸治氏

15:00 ディスカッション「地域文化と博物館」
パネリスト

日本民俗学会 会長 川島 秀一氏
武蔵野美術大学 教授 加藤 幸治氏

コメンテーター

宮城県慶長使節船ミュージアム 館長 濱田 直嗣

プロフィール

川島 秀一氏 (日本民俗学会 会長)

1952年、宮城県気仙沼市生まれ。神奈川大学特任教授、東北大学災害科学国際研究所教授などを経て、現在、同研究所のシニア研究員。博士(文学)。専門は民俗学。日本民俗学会会長。日本カツオ学会会長。著書に『漁撈伝承』、『カツオ漁』、『追込漁』、『魚を狩る民俗』、『津波のまちに生きて』、『海と生きる作法』、『春を待つ海』など多数。



加藤 幸治氏 (武蔵野美術大学 教授)

1973年、静岡県浜松市生まれ。和歌山県立紀伊風土記の丘学芸員、東北学院大学文学部歴史学科教授を経て、現在、武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程教授。博士(文学)。専門は民俗学、博物館学。著書に『津波とクジラとペンギンと』(社会評論社、2021年)、『渋沢敬三とアチック・ミュージアム』(勉誠出版、2020年)、『復興キュレーション』(社会評論社、2017年)他がある。



濱田 直嗣 (宮城県慶長使節船ミュージアム 館長)

1940年生まれ。仙台市博物館学芸室長、副館長を経て1994年館長。2001年3月に定年退職後、同館嘱託(仙台市史編さん専門委員)。2010年4月宮城県慶長使節船ミュージアム館長。主な著書に『伊達の文化誌』(創庵舎)、『仙台市史特別編 慶長遣欧使節』(共著 仙台市史編さん委員会)、『政宗の夢 常長の現』(河北新報出版センター)などがある。



※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって内容・定員に変更が生じる可能性があります。

お申込み方法

【F A X】 下記の申込書に必要事項を記載のうえ、送信してください。

【Eメール】 件名を「シンポジウム参加申込」にして、お名前・居住地・電話番号を記載のうえ、右記アドレスへ送信してください。

【お電話】 右記の電話番号へご連絡ください。(火曜日以外の9:00~17:00まで受付)

TEL.0225-24-2210 FAX.0225-97-3399

Eメール sympo@santjuan.or.jp

FAX参加申込書

FAX. 0225-97-3399(サン・ファン館)

ふりがな	ふりがな				
氏名	氏名				
居住地	都道府県	市町村	居住地	都道府県	市町村
TEL	mail	TEL	mail		

●申込先着50名様となります。定員になり次第、募集終了とさせていただきますので、ご了承ください。

●FAX・Eメールについては、受付後に電話もしくはメール返信にて確認の連絡をいたします。

連絡がない場合は申込みが不着の可能性がございますので、お手数ですがお問い合わせいただけますようお願いいたします。

●個人情報につきましては、今回のシンポジウムと新型コロナウイルス感染症関連の連絡でのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

記入送信日 月 日



サン・ファン館

宮城県慶長使節船ミュージアム

◎お問い合わせ

〒986-2135 宮城県石巻市渡波字大森30番地2

TEL.0225-24-2210 FAX.0225-97-3399

Eメール sympo@santjuan.or.jp

サン・ファン館の最新情報は
こちらよりご覧ください

